

令和 8 年度 第 2 回 沼津市自転車活用推進協議会

**沼津市自転車活用推進計画における
令和 8 年度の実施状況**

【本計画策定の背景】

- ・本市は豊かな地域資源に恵まれ、さらにはサイクリングに適した自然環境を有している。
- ・市街地部では、自転車利用に適した平坦である特性を活かし、これまでも自転車に関する様々な取り組みや自転車利用環境の整備等を継続し、進めてきた。
- ・一方、今後さらなる通行空間の整備、自転車の通行ルールやマナー浸透不足に伴う自転車関連事故、多様な環境づくり等解決すべき課題がある。
- ・このため、自転車施策を総合的に展開していくことを目的とし、沼津市自転車活用推進計画を策定した。

沼津市自転車活用推進計画策定

(令和3年3月策定)
【基本方針】「住みたいまち、行きたいまち。」
～自転車利用環境の向上により、選ばれるまちへ～
【計画期間】
10カ年（令和3年4月～令和13年3月）
本市における自転車に関わる課題の解決施策パッケージ
”プロジェクト6”の事業期間を10年に設定

【計画目標】

- ①自転車利用環境の充実による安全性の確保
- ②移動の利便性向上による過度な自動車への依存の低減
- ③自転車の活用による健康の増進
- ④サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大

I. 自転車通行空間整備推進プロジェクト

II. 自転車安全利用促進プロジェクト

III. 良好な都市環境の形成プロジェクト

IV. ヒト中心のまちづくり連携プロジェクト

V. おでかけサイクリングプロジェクト

VI. 魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出プロジェクト

自転車を活用した
ライフスタイルの浸透

自転車文化の醸成

【自転車に関わる現状・課題と対応の方向性】

課題1 安全・安心	安全安心な自転車通行空間の整備推進、 ルール・マナーの周知徹底
課題2 都市環境	多様な移動手段の確保と利便性向上、 まちづくりと一体となった駐輪場等の包括的なマネジメント
課題3 健康・運動	日常生活における自転車利用の意識の醸成ときっかけづくり
課題4 観光振興	サイクリストの受入環境の整備、地域資源を活用した仕掛けづくり、 県のモデルルート等を活かした広域的な連携



自転車文化とは・・・
日常の移動の中で、自転車が交通手段のひとつとして利用され、
まちに溶け込み、安全に安心して楽しく利用できること。
加えて、自転車の活用について、多面的に理解されていること。



沼津市自転車活用推進計画の目標を達成するための事業実施 ※再掲は除く

◎：完了 ○：一部完了・継続して実施中 △：検討中 ×：未着手

	プロジェクト外	No	措置内容	実施状況	令和8年度 取組状況	
目標 1	I. 自転車 通行空間 整備推進	1	沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備	○	自転車通行空間の整備 6路線(1.23 k m)整備予定 3路線(0.66 k m)実施済み。 引き続き自転車通行空間の整備をする。	
自転車利用環境の充実による安全性の確保		2	自転車を利用しやすい環境の整備	○	自転車通行空間の整備と併せ、街路灯の整備予定（歩道照明 8基）。 令和9年3月完了予定。	
		3	自転車通行空間の適正な維持管理	○	舗装修繕を720m整備予定。 令和9年2月完了予定。	
		4	自転車通行空間上の違法駐車取締りの推進	○	年度内において72回（6回／月）実施予定。	
		5	ゾーン30や狭さく等による安全対策の実施	◎	引き続き利用者の声を注視する	
		6	無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備	○	引き続き実施する。	

沼津市自転車活用推進計画の目標を達成するための事業実施 ※再掲は除く

◎：完了 ○：一部完了・継続して実施中 △：検討中 ×：未着手

	プロジェクト	No	措置内容	実施状況	令和8年度 取組状況	
目標 1 自転車利用環境の充実による安全性の確保	Ⅱ. 自転車安全利用促進	7	世代に応じた交通安全教室の開催	○	「交通安全リーダーと語る会」（小学校）や「自転車マナー向上対策」（中学校・高等学校）といった交通安全教室を実施していく。	
		8	自動車との共存に向けた相互理解の促進	○	静岡県交通安全協会沼津地区支部や自動車学校と協力し、ドライバーに対し講習を実施。	
		9	沼津市高校生自転車マナー向上委員会による自転車マナー啓発活動の推進	○	委員会と協力し、1か月に1回早朝または夕方に街頭指導・広報を実施。	
		10	自転車の走りやすさや安全性に関するマップの作成と発信	○	各小学校でマップの作成及び掲示することで小学生に対する意識向上を図っていく。	
		11	市役所職員の自転車の交通に対するモラルの向上	○	通勤時における職員のヘルメット着用状況については、着用促進を図っていく。	
		12	5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進	○	市営駐輪場でのポスター掲示や市SNSを活用し、情報発信を図る。	
		13	自転車点検実施の推進	○	自転車軽自動車商業協同組合沼津駿東支部と協力し、無料で点検の実施。	
		14	自転車ヘルメット着用の広報啓発	○	自転車運転時のヘルメットの有用性を周知し、街頭キャンペーンや各種媒体を通じて着用を呼びかける。市職員に対する呼びかけにも注力する。	
		15	自転車損害賠償保険の加入促進	○	自転車保険加入促進チラシを配布し、加入促進に努める。	

沼津市自転車活用推進計画の目標を達成するための事業実施 ※再掲は除く

◎：完了 ○：一部完了・継続して実施中 △：検討中 ×：未着手

	プロジェクト	No	措置内容	実施状況	令和8年度 取組状況	
目標2 過度な移動の利便性向上による 自動車への依存の低減	Ⅲ. 良好な都市環境の形成	16	自転車と公共交通の相互利用の利便性向上	○	「バスまちば」の取組を進めていく。	
		17	公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタルサイクルポートの設置検討	○	引き続き利用状況を踏まえたハレノヒサイクルポート設置箇所を検討していく。	
		18	駐輪場の運営管理及び放置禁止区域の見直し	○	各駐輪場の照明設備のLED化を実施する。	
		19	市民に対するエコ通勤の呼びかけや事業者における自転車通勤制度導入に向けた働きかけ	○	企業向け情報メールのみならずSNSも活用し、自動車から自転車への転換を啓発していく。	
		20	市役所職員の近隣公務における公用自転車の利用促進	○	引き続き公務での利用を促進していく。	
	Ⅳ. ヒト中心のまちづくり連携	21	まちなか及び周辺地域資源を徒歩・自転車・公共交通で訪れてもらう取り組みの検討	○	引き続き交通DXアプリの提供・情報の拡充を図るとともに、沼津市民向けの情報発信に特化した機能を実装する。	
		22	沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置検討	△	駅周辺の整備に合わせ、中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車等駐車場の配置を検討する。	
		23	移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討	○	引き続き情報収集に努める。	

沼津市自転車活用推進計画の目標を達成するための事業実施 ※再掲は除く

◎：完了 ○：一部完了・継続して実施中 △：検討中 ×：未着手

	プロジェクト	No	措置内容	実施状況	令和8年度 取組状況	
目標3	V. おでかけサイクリング	24	ぬまづ健康マイレージをツールとした自転車利用の促進	○	リーフレットにて自転車利用を促進。	
自転車による健康の活用促進		25	市役所職員の率先した自転車通勤・自転車移動の促進	○	庁内電子掲示板にて自転車利用を促進。	
		26	自転車の魅力、楽しさ、健康効果の周知啓発およびイベント・講習会の実施	○	子どもを対象にしたランバイクイベント及びスルガ銀行と連携したPR動画を作成予定。	
		27	地域の自転車クラブの創設促進	△	関係機関の検討及び協議を実施予定。	
目標4	VI. 魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出	28	広域連携によるサイクルルートのブランド化の推進	○	伊豆市、伊豆の国市と連携し、狩野川周辺エリアのサイクリングコース「かのいち」を展開している。	
サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大		29	地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の促進	○	アプリを活用した周遊イベント「サイクルボール seasonⅦかのいち」を開催中。	
		30	サイクル拠点の整備促進	○	更なる整備に向け、調整を進める。	
		31	官民連携によるサイクリスト受入環境の向上	○	民間事業者へバイシクルピットの登録を促していく。	
		32	情報発信ツールの作成	○	サイクリングマップ（QRコード）を掲載したポケットティッシュを作成し、イベントで配布した。スルガ銀行と連携し作成予定の地域PR動画をSNSで発信予定。	
		33	国内外への情報発信の強化	○	SNS等でサイクリングの関連情報を発信中。	

令和 8 年度 第 2 回 沼津市自転車活用推進協議会

目標 1 . 自転車利用環境の充実による安全性の確保

【 Do 】 計画目標達成に向けた令和 8 年度の実施状況

自転車利用者のヘルメット着用率向上を目指し、ラブライブ！サンシャイン!!とコラボしたポスター等による啓発活動とともに、高校生からヘルメット着用を呼びかける取組を実施

目標1. 自転車利用環境の充実による安全性確保

Ⅱ. 自転車安全利用促進プロジェクト

14. 自転車ヘルメット着用の広報啓発

【「ラブライブ！サンシャイン!!」とコラボしたポスター及びチラシの制作】

- ラブライブ！サンシャイン!!とコラボしたヘルメット着用啓発ポスター及びチラシを制作した。
- チラシは沼津警察署管内の全高校生へ配布するとともに、ポスターは公共施設や高等学校をはじめ、沼津駅や郵便局、自転車販売店やラブライブ！サンシャイン!!の聖地などに掲示し、ヘルメット着用を呼びかけた。

【高校生の自主制作作品による広報】

- 沼津市立沼津高等学校の生徒が、総合的な探求の時間で「ヘルメット着用啓発動画」を、また、静岡県立沼津西高等学校イラスト部の生徒が、自転車の安全利用を呼びかけるポスターをそれぞれ自主的に制作した。
- この動画及びポスターは、市HPへのアップやSNSでの周知を行うとともに、動画を市内商業施設の大型ビジョンで放送した。

【高校生によるヘルメット着用の呼びかけ（DJ高校生）】

- 沼津警察署管内の11高校により組織されている「沼津市高校生自転車マナー向上委員会」は、毎月1回、各学校周辺で生徒及び教員による街頭広報・指導を行っている。
- 令和8年5月25日は特別街頭指導として、杉崎町交差点で近隣4校の生徒代表が、沼津警察署の指揮官車の上から、道行く自転車運転者に対し、自分の大切な命を守るために、また大切な家族のために、自転車に乗るときには必ずヘルメットを被るよう、呼びかけを実施し、テレビ等でも大きく取り上げられた。

【考察】

- 大切な命を守るために、自転車乗車時のヘルメット着用が非常に重要であるが、若年層の着用率が非常に低い状況にある。
- 高校生自らが問題意識を持ち、自主的にヘルメット着用率向上に向けた取組を実施する動きが出てきていることから、警察や交通安全協会等と連携しながら、こうした取組を支援・推進していくことが重要であるとする。

【ヘルメット着用啓発ポスター及びチラシ】



【高校生の自主制作作品】



(市立沼津高等学校生徒による動画)



(県立沼津西高等学校生徒によるポスター)

【高校生によるヘルメット着用の呼びかけ（DJ高校生）】



目標1. 自転車利用環境の充実による安全性確保

I. 自転車走行空間整備推進

① 自転車通行空間の整備



●市施工

- ・実施路線 3路線 : 延長 0.66km
 - 市道02027号線 : 延長 0.33km
 - 市道20389号線 : 延長 0.23km
 - 市道40205号線 : 延長 0.10km

② 自転車通行空間の適正な維持管理

●舗装修繕

- ・市道02016号線 L = 250m A = 2,520m²
- ・市道02034号線 L = 110m A = 605m²
- ・市道01053号線 L = 200m A = 1,240m²
- ・市道40148号線 L = 160m A = 1,360m²



沼津市自転車活用推進計画の指標・目標値および実績・考察

目標1 自転車利用環境の
充実による安全性の確保

No	指標	目標値	実績と考察	参考
1	●市内の 自転車事故発生 件数	●人口1万人あたり R1：11.8件/万人 →R7：9.7件/万人 →R12：8.9件/万人 (R7変更)	●人口1万人あたり R7：---件/万人 【考察】 ・事故件数が減少傾向にあることから、自転車通行空間の整備や安全教室の実施により、一定の効果が発揮されているものと思われる。	●人口1万人あたり R6：7.6件/万人（基準年度比 36%減）
2	○自転車通行 空間の 整備延長	○整備延長 R1：43.0 k m →R7：56.0 k m →R12：88.6 k m (R7変更)	○整備延長 R7実績：75.31 k m 【考察】 ・当初計画の目標値に対し計画以上に整備が進められている。 ・(R6.3) 計画の評価・更新を行い、新たな路線を位置づけし、さらなる整備を効率的、効果的に推進	○整備延長 R6：74.28 k m
3	○世代に応じた 交通安全教室の 実施回数	○実施回数 R1：368回/年 →R7：370回/年 →R12：570回/年 (R7変更)	○実施回数 R7見込：587回/年 （基準年度比 160%増） 参加人数48,067人 【考察】 ・昨年度より実施回数、参加人数ともに増となっている。	○実施回数 R6：523回/年（基準年度比 142%増） 参加人数35,704人
4	○自転車に重点 を置いた 交通安全教室 の実施回数	○実施回数 R1：1回/年 →R7：5回/年 →R12：90回/年 (R7変更)	○実施回数 R7見込：96回/年 （基準年度比 9600%増） 参加人数16,752人 【考察】 ・R8.4.1からの自転車へ青切符制度が導入されることや、県内で高校生が通学中に亡くなる事故が発生したことなどから、高等学校において全校集会や校内放送等を活用した講習を実施したため、参加人数は増の見込みとなった。	○実施回数 R6：84回/年（基準年度比 8400%増） 参加人数11,663人 ・基準年度比増は、目標設定時（R1）の回数のカウント漏れによるもの。

●アウトカム指標・・・成果指標。施策の実施によりもたらされた成果。○アウトプット指標・・・活動指標。実施した施策の結果。

令和 8 年度 第 2 回 沼津市自転車活用推進協議会

目標 2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

【 Do 】 計画目標達成に向けた令和 8 年度の実施状況

自転車と公共交通の相互利用の利便性向上

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

Ⅳ. ヒト中心のまちづくり連携プロジェクト

12. 自転車と公共交通の相互利用の利便性向上

【「バスまちば」の沼津市での導入について】

■ バスまちばとは？

岐阜市では、バス停の近くにあるコンビニや金融機関、飲食店などの民間施設の協力を得て、バスを待つことができる「バスまちば」を展開しています。店内や軒下のベンチで快適に待つことができ、バスの接近情報も設置してあるモニターで確認することができます。現在23か所が「バスまちば」として登録されており、利用者の利便性向上とバスの利用促進につながっています。

■ 沼津市での導入イメージ

沼津市でも、バス停周辺の民間施設や公共施設と連携し、「バスを快適に待てる場所」として活用する取り組みを検討します。バスの運行情報やスペースの提供など、できることから始め、順次拡大していきます。連携いただく内容として、駐輪場の利用やシェアサイクルステーションの設置可否についても協議します。

■ 期待される効果

- ・雨天や猛暑・寒冷時でも快適にバスを待つことができる
- ・バスの運行情報による「いつ来るかわからない不安」を軽減
- ・バス利用の心理的ハードルが下がり、利用促進につながる



沼津市自転車活用推進計画の指標・目標値および実績・考察

目標2 移動の利便性向上による
過度な自動車への依存の低減

No	指標	目標値	実績と考察	参考
5	●各交通手段の利用割合	●平日の主な交通手段の利用割合 (重複回答を含む) 【自動車】 R1 : 69.6% →R7 : 72.2% →R12 : 84.2% (R7変更) 【鉄道・バス】 R1 : 21.6% →R7 : 24.3% →R12 : 24.3% (R7変更) 【自転車】 R1 : 19.2% →R7 : 25.6% →R12 : 19.2% (R7変更)	●平日の主な交通手段の利用割合 R7【自動車】 : 84.2% (基準年度比 14.6%増) (前年度比 1.2%増) R7【鉄道・バス】 : 20.3% (基準年度比 1.3%減) (前年度比 0.8%増) R7【自転車】 : 14.3% (基準年度比 4.9%減) (前年度比 4.0%減) 【考察】 ・前年度と比較して自動車利用は増加しているものの、鉄道・バスの利用数も増加している。自転車利用は昨年度と比較して大幅に減少しているものの明確な原因はふめいであり、引き続き状況を注視する。 ・鉄道やバスとの乗り継ぎなどの利便性を向上させるなど、鉄道・バスと自転車で相互に利用率をあげていく施策を進めていくことが重要と考えられる。	●平日の主な交通手段の利用割合 R6【自動車】 : 83.0% (基準年度比 13.4%増) (前年度比 0.1%増) R6【鉄道・バス】 : 19.5% (基準年度比 2.1%減) (前年度比 2.7%増) R6【自転車】 : 18.3% (基準年度比 0.9%減) (前年度比 2.3%増)
6	○市内のサイクル&バスライド用駐輪場の延べ数	○箇所 R1 : 1箇所 →R7 : 7箇所 →R12 : 16箇所 (R7変更)	○箇所 R7 : 1箇所 (基準年度比 変更無) 【考察】 ・シェアサイクルの設置や「バスまちば」の取組を進めることで、サイクル&バスライド用駐輪場の箇所数増加を図る。	○箇所 R6 : 1箇所 (基準年度比 変更無)

●アウトカム指標・・・成果指標。施策の実施によりもたらされた成果。○アウトプット指標・・・活動指標。実施した施策の結果。

令和 8 年度 第 2 回 沼津市自転車活用推進協議会

目標 3. 自転車の活用による健康の増進

【 Do 】 計画目標達成に向けた令和 8 年度の実施状況

沼津市自転車活用推進計画の指標・目標値および実績・考察

目標3 自転車の活用による健康の増進

No	指標	目標値	実績と考察	参考
7	●健康増進のため自転車を利用する人の割合（アンケート）	●アンケート回答割合 R1：43.2% →R7：45% →R12：50%	●アンケート回答割合 R7：「令和7年度市民意識調査」において、下記項目のアンケートを実施。 「あなたが普段、自転車を利用する理由は何ですか。」 →「健康に良いから、体力づくりのため」と回答： 32.2%（基準年度比74.5%）	●アンケート回答割合 R5：アンケート実施無 R6：「令和6年度市民意識調査」において、下記項目のアンケートを実施。 「あなたが普段、自転車を利用する理由は何ですか。」 →「健康に良いから、体力づくりのため」と回答：42.2%
8	○自転車関連イベントの延べ実施回数	○実施回数 R1：5回 →R7：35回 →R12：60回 (R7変更)	○実施回数 R8.7月：38回（基準年度比760%） 【考察】 ・自転車の魅力、楽しさ、健康増進につながるイベントを様々な切り口で開催する。	○実施回数 R3：15回（基準年度比300%） R4：22回（基準年度比440%） R5：27回（基準年度比540%） R6：31回（基準年度比620%） R7：37回（基準年度比740%）

令和 8 年度 第 2 回 沼津市自転車活用推進協議会

目標 4 . サイクルツーリズム推進による交流人口の拡大

【 Do 】 計画目標達成に向けた令和 8 年度の実施状況

サイクルボール seasovⅦ かのいちの実施

目標4、サイクルツーリズム推進による交流人口の拡大

Ⅵ、魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出プロジェクト

28.広域連携によるサイクルルートのブランド化の推進

29.地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の促進

【内容】

- ・サイクリングアプリを使い、日本全国の名だたるコースの走破を目指す期間型周遊イベント「サイクルボール」の1コースとして、狩野川周辺地域を巡るコース「かのいち」を4月25日～翌1月31日まで実施。
- ・イベント期間中の参加者数 147人（R8.7.29現在）
- ・沼津市・伊豆市・伊豆の国市で構成する「狩野川周辺サイクル事業推進協議会」が実施しており、広域連携の取り組みとなっている。
- ・距離113.2キロのメインコースのほか、初心者でも安心してチャレンジできるショートコースを3市で1つずつを用意。
- ・地域のおすすめグルメや店舗を専用サイトで紹介することで地域消費を促す。

【考察】

- ・全国のサイクリストが本イベントに参加し、SNSに投稿することで本市の魅力発信や誘客の促進につながっている。

【今後の展開】

- ・周辺の市町村と協力しながら、サイクルツーリズムに係る交流人口の拡大を図る。
- ・「かのいち」を活用したキャンペーン等を行い、更なる地域経済効果の促進を図る。



イベントにおけるブース出展

目標4. サイクルツーリズム推進による交流人口の拡大

VI. 魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出プロジェクト

28. 広域連携によるサイクルートのブランド化の推進

33. 国内外への情報発信の強化

【内容】

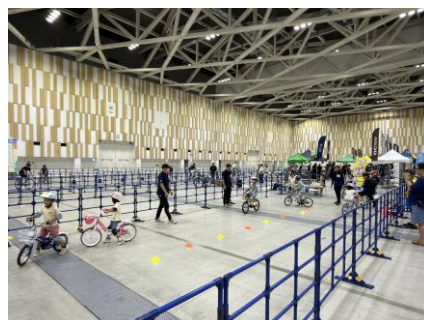
沼津市・伊豆市・伊豆の国市で構成する「狩野川周辺サイクル事業推進協議会」が狩野川周辺のサイクル環境のPR及びアンケート調査するため、「スルガ銀行Presents沼津サイクルフェスティバル2026」へでブース出展を行った。（美しい伊豆創造センターと共同出展）

【考察】

- ・アンケート回答者の90%が狩野川周辺はサイクリング環境に向いていると回答。
- ・サイクリングをする際に重視することの回答で「景観の良さ」「安全面（交通量が少ない）」「自転車専用道・走行しやすい環境」が多い。
- ・狩野川周辺への要望（抜粋）
 - 自転車専用道路を確保してほしい
 - 路面をキレイにしてほしい。舗装等。
 - 国道等を横切る際信号機欲しい
 - 子どもと一緒にサイクリングできるコースの設備。
 - 休憩場所を増やして欲しい
 - サイクリングロードをわかりやすくして欲しい
 - ルートが地面や看板で書いていると安心できます。

【今後の展開】

- ・サイクリングコース設定の際に、走行環境の良いコース設定に努めていく。



沼津市自転車活用推進計画の指標・目標値および実績・考察

目標4 サイクルツーリズムの
推進による交流人口の拡大

No	指標	目標値	実績と考察	参考
9	●サイクル拠点施設の年間利用者数	●年間利用者数 R1：2.3千人/年 →R7：3.4千人/年 →R12：3.9千人/年 (R7変更)	●年間利用者数 R7：3.3千人（基準年度比143%） 【考察】 ・期間周遊型サイクリイベント等の展開によりサイクルステーションの利用促進が図られた。一方で、レンタサイクルの利用率が低下傾向にある。	●年間利用者数 R2：4.5千人/年（基準年度比 196%） R3：3.8千人/年（基準年度比 165%） R4：3.8千人/年（基準年度比 165 %） R5：3.9千人/年（基準年度比 169 %） R6：3.4千人/年（基準年度比 148 %）
10	○サイクリングコース・観光プラン等延べ造成数	○コース R1：0コース →R7：16コース →R12：26コース (R7変更)	○コース R8.7月まで：27コース（基準年度比2700%増） ・初級者（10～40km）16コース ・中・上級者（50～100km）11コース 【考察】 ・民間事業者と協力し、プランの造成に取り組んでいる。	○コース R2：2コース（基準年度比200%） R3：6コース（基準年度比600%） R4：8コース（基準年度比800%） R5：10コース（基準年度比1000%） R6：14コース（基準年度比1400%） R7：23コース（基準年度比2300%増）
No	指標	目標値	実績と考察	参考
11	○パートナー事業者数	●事業者数 R1：47箇所 →R7：52箇所 →R12：57箇所 (R7変更)	●事業者数 R8.7月まで：53箇所（基準年度比13%増） 【考察】 ・引き続き事業者へ登録を呼びかけていく。	●事業者数 R2：46箇所（基準年度比 2%減） R3：47箇所（基準年度比 0%） R4：51箇所（基準年度比 9 %増） R5：52箇所（基準年度比11%増） R6：52箇所（基準年度比11%増） R7：53箇所（基準年度比13%増）
12	○サイクリング関連HP「ぬまづサイクリング」の年間閲覧数	○年間閲覧数 R1：15千PV →R7：6.7千PV →R12：8.2千PV (R7変更)	○年間閲覧数 R8.6月まで：5.2千PV（基準年度比35%） 【考察】 ・市HPにおけるイベント情報は随時更新している。	○年間閲覧数 R2：16千PV（基準年度比107%） R3：17千PV（基準年度比113%） R4：7千PV（基準年度比47%） R5：7.2千PV（基準年度比48%） R6：6.7千PV（基準年度比45%） R7：7千PV（基準年度比47%）

●アウトカム指標・・・成果指標。施策の実施によりもたらされた成果。○アウトプット指標・・・活動指標。実施した施策の結果。